

## 令和7年度学校評価アンケート

### ◆保護者からいただいた主なご意見(自由記述)と現在の学校の考え◆

#### 【学習面・授業への取り組みについて】

・夏休みの課題も教科によって量がばらばらで、学年としての統一感が感じられない。小学校では、端末で一週間の時間割がチームスで配信されていた。中学校では無理ですか？学習に前向きに取り組めない子なので、テスト範囲をすぐーるで1週間前には知らせてほしい。

・お世話になっております。小学校教育が探求学習型に重点を置いている現状(家庭学習はほぼ自主学習)と、家庭から見える中学の評価に隔たりを感じています。高校受験の為の知識の暗記は不可避ではありますが、我が子も含め、義務教育内での学びの連続性があることで、現状多い不登校や特性を持つ生徒にも無理のない学習環境を保障頂きたいと感じています。

・多忙を極める中、工夫された授業や特別授業など色々と積極的に取り組まれていると思います。地域の方の力も借りて、生徒にもボランティア活動を積極的に取り組める様になると良いと思います。

・不登校の生徒に別室を設けているように、勉強が苦手な生徒にも放課後などを使って勉強会のような時間を設けてほしい。授業中質問できずに分からないまま進んでいくとどんどん分からなくなり、更に勉強嫌いになっていくので自由に質問できるスペースがあれば良いと思います。

・タブレットについて、使う環境を増やしていただき、活用場所も増えているように感じますが、不調のpcを使い続けているため作業効率が悪く倍の時間がかかっているように感じています。このような場合に交換対応などしていただけるのかがわからないため本人が困っています。

○長期休業中の課題については、教科の特性(作品展への出品など)や生徒負担(提出を希望者のみにするなど)等を考慮し、各学年で調整しています。また、定期考査のテスト範囲は、クラスごとの授業進度の調整なども必要なため、原則として、定期考査 1 週間前にお知らせしております。予定については、連絡ノート(デイリーライフ)を活用させるとともに、行事予定2か月分を毎月初めに「すぐーる」にて配信しております。時間割や行事予定について、ご不明な点がございましたら、学年・担任までお問い合わせください。

○ご指摘の通り、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す、「探求的な学習」は、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものであると考えています。住吉中学校でも、これまでと同様に、総合的な学習の時間をはじめ、各教科の授業においても、「探求的な学習」の

充実をめざし、基本的な知識の定着を図りながら、主体的・協働的に学ぶ活動を取り入れていきます。

○定期考査前の放課後や長期休業中、早朝、昼休みなどを利用して、各学年がその状況に応じて、自習教室や補習教室を開催しております。また、来年度 9 月以降の部活動の地域展開(コベカツ開始)に伴い、放課後に生徒たちが、主体的に学習活動などに取り組める新たな生徒の居場所を設けることを検討しています。詳しいことが決まりましたら改めてお知らせいたします。

○学習用パソコンに不具合があり、修理が必要な場合は、担任にお申し出ください。修理中は代替機を貸し出します。また、校長室だより第 10 号でもお知らせしましたが、1,2年生の端末が学習用パソコン(Windows 端末)から学習用タブレット(iPad 端末)へ変わりました。学習用タブレット(iPad 端末)は以前の端末に比べ、丈夫で壊れにくい実績があり、性能も向上し、授業でより活用しやすくなりました。ただし、学習用タブレット(iPad 端末)についても、これまでと同様に紛失または故意に破損したことが確認できた場合、弁済していただきますので、ご家庭においても丁寧な利用を心掛けてください。

## 【生活面・ルール・校則等について】

・いつもありがとうございます。一部、きまりを守らない生徒がいるようで、その指導に学年全体として先生方から厳しい言葉で責められるのが、子供にとっては心が痛むようです。何か良い方法があれば…と思います。

・登校時に携帯を見ていたり、赤信号で渡ってしまったりする生徒がおり見ている危ないと感じる時が少しあります。自らが見られていることに気づけたら良いなと思います。

・学校の中のことはわかりませんが、登下校のマナーに問題がある生徒は多いと思います。また、守らせることができないルールは真面目な生徒にとってはしんどいだけではないかと思います。

・生活態度が悪い生徒の対応が、優し過ぎるようなきがしました。保護者が見に来ていのに走り回ったりして、授業の妨げになっているように感じました。

・いつもお世話になり、ありがとうございます。担任の先生をはじめ、学年の先生方が本当にきめ細やかに子どもたちの様子を見てくださっており、タイミングを見て適切な関わりをしてくださっていること、本当に感謝しています。

・SNS でのトラブルや、いじめの問題への向き合い方について、先生方が学ぶ機会や専門家に相談したり指導を委ねられたりするような仕組みはあるのでしょうか。

・本校の先生方は生徒とのコミュニケーション機会を積極的に設けて頂いていると思います。これからもこの取り組みは継続してもらいたいです。部活動は無くなりますが、コベカツなりの悩みがあると思います。生徒の声を聞く時間を作ってあげてください。

・日頃から愛情と信念を持って、子供達に接してくださっていることに感謝しております。しかし、中にはそうでなさそうな先生もおられるようで不安があるのも事実です。私たち保護者としましても、状況や詳細が分からないこともあり、子供達からの話しか判断材料がありませんが、悲しいことに、人格否定的な言葉や、子供達の可能性を否定したり、侮辱したりするような言葉をよく使われる先生がいらっしゃるそうです。その度に子供達は傷付いています。「言霊」というように、言葉はとても大きな力を持っています。どうか、教育者としての自覚を持って、子供達への言葉がけをしていただきたいと、切にお願い申し上げます。

・先生方は本当に忙しい中、子供に向き合い、話をよく聴いて下さっていると思います。毎日楽しく学校に通えているのも、先生方がさり気なくサポートして頂いているお陰です。心から感謝しております。

・先生方は一人一人の先生でありかつ学校全体の先生でもあるので立場を考えながらご指導せざるを得ないかと思えます。生徒はプラスの声かけもマイナスの声かけも深く記憶にのこります。皆をまとめるために、皆をいい子にするための声かけだけではなく一人一人の個性を認めて振り幅がある個性も共感していただければ本当に先生、仲間、住吉中学校の存在が生きる上での糧になるかと思えます。

○登下校のルール・マナーについては、学校でも機会をとらえ、引き続き粘り強く指導をしまいたします。ただし、登下校の安全確保について学校と教師の果たす役割は「登下校の際の交通安全のルールを生徒に教えること、警察や保護者と連携すること」となっており、文科省は、登下校に関する対応は「基本的には学校以外が担う業務」と定めています。このことから、学校の指導だけでは登下校の生徒たちの安全を守ることは難しく、保護者の皆様による家庭教育がより重要であると考えております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ご指摘の通り、きまりを守れていない生徒がいることも事実です。そういう生徒も含めて、これまで同様、本校のきまりである「住人十色」の精神や意義を、主体的に理解し、積極的に守ろうという意識を持たせることができるよう、保護者の方々のご理解ご協力を求めながら、関係機関と連携し、あらゆる場面を通して、あきらめることなく粘り強く指導を継続していきます。

○SNS でのトラブルや、いじめの問題にかかわらず、課題への対応については、神戸市教育委員会等の実施する研修への参加や、外部から講師を招いての校内職員研修などを通して、教員も日々学びを深めています。同時に、学校内での連絡体制を整備し、教員が個々の判断や経験のみで対応するのではなく、学校として組織的に対応できる体制を構築しております。あわせて、必要に応じて関係機関と連携しながら指導支援を進めております。

※SNS のトラブルについては、学校でも、情報モラルや規範意識を高めていく取り組みを継続し、指導や支援を行います。しかし、学校ができることが限られていることも事実です。これらの問題には、本人の規範意識の向上と保護者による指導が不可欠です。「スマートフォン等に関わる問題の最終的な責任は保護者にある」という認識をしっかりとお持ちいただきますよう、併せてお願いいたします。

○貴重なご意見ありがとうございます。大人より圧倒的に自分の気持ちを言葉で表現することが難しい生徒たちとの信頼関係構築のために、教員は、いついかなる時も子供たちにとって安全安心な存在であるべきだと考えております。教員による「笑顔で語りかける」「暖かく関わり続け励まし続ける」「前向きな気持ちを後押しする」「結果でなく努力の過程や挑戦を認める」等の行為が、生徒たちにとっては、「先生は気にかけてくれている」「自分をわかってくれている」といった安心感を生むこととなります。今後も、私たち教員が生徒たちにとって安全・安心を与えられる存在であり続けるために、住吉中学校教職員一同、再度、自身の言動を見直し、生徒が自分らしく前向きに努力できる居場所と学校がなれるよう、主体的な学びと心の安定を育める場所となれるよう、全力で努力してまいります。気がかりな点などございましたら、学校への連絡・相談をお願いいたします。

### 【環境面・校内美化について】

・校内の階段の段差が違う、壁が古くなってボロボロ、黒板が非常に低くて先生が書きにくそう。廊下は微妙に平らでなく、薄暗く感じる。また、教室のドアはガタついていて、開けるのにコツがいる等校内美化以上に建物自体に問題がある感じでした。神戸市教育委員会をもっと各学校の設備投資を行うべきだと思います。

○いただいたご意見は、神戸市教育委員会事務局と共有しながら、生徒たちが安全に生活できるよう、校内環境の整備に努めてまいります。

### 【学校行事・学校公開・情報発信について】

・行事等はなるべく参加したいと思っておりますが、仕事とのやりくりがなかなか大変です。できれば月1回、2回になる場合は間を開けるなどしていただくと助かります。

・熱心な先生方が多いと思います。先生が書いてくださる通信はこれから子供の宝になると残しています。育ち盛りの子供たちにどんな言葉が響くのかはわかりませんが、家庭だけでなく一緒に子供たちを成長させていただけたら嬉しいです。先生が同時期の頃のお話などお伺いできる機会があったら嬉しいなと思っておりました。上の子供と一緒に学校に行く事もあります。寄ってみたいくなる学校であって嬉しく思っています。

・今年で最後になるかもしれない、文化祭ですが、展示もその日の方が盛り上がり楽しめたのではと思っておりました。行かないという保護者が多かったです。

・一学期と二学期の終わり頃に個別保護者会がありますが、どちらも三者面談なので、片方は二者面談にしたらどうでしょうか。二者のほうが良い場合は生徒を外に出すことも出来るという話もあるようですが、外に出されたら色々気になると思います。親もなかなか先生とお話出来る機会がないですし、気になっていることなど聞きやすくなるので良いのではないのでしょうか。

○本校では、体育会を10月開催から6月開催にするなど、生徒や教員の負担も考え、行事開催時期を調整しております。ただし、宿泊行事やトライやる・ウィークなどの学年行事との関係や、音楽コンクール代表クラスが文化発表会に出場するため、音コンと文化発表会の間隔をあけることが難しいなどの理由で、どうしても、行事が一時期に集中せざるを得ない場合があります。主な学校行事は、年間行事予定に掲載し、HPに公開しております。また、毎月初めに2か月分の行事予定を「すぐー」にて配信し、HPにも公開しておりますので、こちらも参考にいただければと思います。ご協力をお願いいたします。

○来年度の文化的な取り組みの発表の場として、すでにお知らせしております通り、文化部(吹奏楽部・美術部・放送部)の発表の場を1学期の終わりに実施する予定です。また、その他として、10月中旬に、各学年の音楽コンクールとこれまでの文化発表会に代わる文化的な取り組みの発表の場(舞台の部)を実施する方向で計画しております。また、美術部を除く各教科や生徒会活動や委員会活動などの展示の部も、今年度いただいたご意見を参考に、舞台の部と同時期に実施する予定としております。

○個別保護者会は、お子様の学習面や学校生活等について、その成長やがんばり、課題などを、お子様、保護者、教員(学校)がともに確認にし、さらなる成長につなげることを目的に実施しております。あくまでも、主体はお子様(生徒)であり、お子様(生徒)の思いを生徒自身から聞き、保護者・学校がともに確認することが大切であると考えています。ご理解いただければと思います。もちろん、お子様(生徒)がいない場での相談が必要な場合もあると思います。個別保護者会期間に限らず、直接、学校・学年・担任にご連絡いただきましたら対応いたしますのでご相談ください。

## 【部活動について】

・部活動からコベカツへスムーズに移行できるのか不安です。費用や活動内容についての詳しい情報を早く教えてほしい。交通費がかかる場合の援助をしてほしいです。

・現状には、大体満足しております。先生達のおかげで充実した学校生活を送れている様子です。部活動が楽しいみたいでそこで仲良くなった友人達とワイワイ話をするのが楽しみで学校に行っている様です。クラスの人間関係や先生との関係もとても良く楽しんでいると思います。今後コベカツに変わり、どうなってしまうか不安もあります。もし、次の学年に上がりクラス替えで人間関係が上手くいかなかった時、部活動が居心地

の良い場所なら学校内で心のより所になる場所がある分、多少クラスでつらい事があっても頑張って登校しようと思えるかもしれませんが、部活動が無くなると、ただ居心地の悪いクラスにいかねばならない気が重くなり、学校へ行き渋る生徒が増えるのではと心配しています。

・先生方の負担は計り知れないので強くは言えませんがやはり部活動で頑張っている姿を見るとコベカツになるのは胸が痛みます。神戸市が区切り方をもう少し考えた方がいいと思います（来年の1年生からとか）。神戸市の準備不足のように感じます。住吉中学校の先生方はお忙しい中、児童のことをよく考えて下さり大切に下さり頭が下がります。難しい年頃の子供達のいいところを上手に引き出して下さり感謝です。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

・学校のことでないが、部活動がなくなることが大変残念に思う。コベカツが見切り発車であることが否めない。部活動がなくなったあと、子供達はどこで運動すればいいのか、放課後の長い時間が悪影響を及ぼす時間にならないか心配です。また、内申点の割合が多すぎることも不満です。個人の能力に合わせた学校選びができるのか、甚だ疑問です。中学校には問題ありません。先生も一生懸命指導してくださっていると感じています。

・自分そうであったように、中学生にとって部活動はとても大切だと思います。色々なストレスを発散する機会にもなりますし、部活の友達と力を合わせることは勉強だけでは得られない大切なことを学ぶとても大事な時間だと思います。実際、息子も部活が一番楽しい様で、せっかく一番打ち込めることが2年生の途中で終わってしまうのはすごく残念です。せめて今年入部した1年生は最後までみてもらえるとかの措置ができなかったのかな、とほとんどの親が考えています。コベカツの活動内容もはっきりしたことが分からず、また活動が他の学校であったとしてもかなり遠く、どういった活動がどこの場所であるのか、住吉中学で活動してくれるのか、など全てきちんと決めてから部活を選べたら良かったと思いますし、それが難しいならせめて部活に入部したこの最後の学年までは最後までできるようにしてほしいです。

・先生方の負担が多いのは十分に理解できるので、部活数を減らすなどして自分の通っている中学で部活ができるようにする(指導者はボランティア)とか。体を動かしたり友達と活動したりする機会が減って、ゲームばかりする子が増えそうで少し心配ですね。

・今のままで良いと思います。コベカツは仕方ないですが、子供の人数的に可能なら部活は今まで通りが良かったです。先生の負担が大変な部活のみ一部コベカツ方式で良いと思います。

・もうすぐコベカツがはじまると思いますが、学校での活動は下校時間後すぐにはじめただけだと嬉しいです。せっかく活動して下さっても、例えば 15:30 下校なのに 16:30 スタートなどになってしまうと、参加しづらくなってしまいます。

○中学校の部活動は、子供たちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきましたが、時代の変化とともに状況が変わっています。神戸市においても、少子化が進む中で、生徒数の減少やそれに伴う教員配置人数の減などにより、部活動の維持が困難となり、子供たちの選択肢が少なくなる状況が顕著になっています。また、生徒の部活動に対するニーズも多様化しており、現在の部活動の枠組みをこのまま続けることは困難であると判断し、神戸市では2026年の夏に部活動を終了し、子供たちが多種・多様な活動から「やりたいこと」を主体的に選択して参加できる環境を将来に渡って確保していくため、2026年9月から「コベカツ」を開始することとしています。これは、神戸市独自の取り組みではなく、国でも方針を定めて取り組んでいるもので、兵庫県内の他の市町でも神戸市と同様の取り組みが進められています。

また、国においてコベカツ団体への補助が検討され、神戸市においても、保護者負担の軽減に繋がる「コベカツサポート」が運用されることが発表されています。スマートフォンで、このコベカツサポートを利用することで、生徒1人当たり、月1500円分のポイントを受け取ることができ、会費の支払いに利用できます。また、スマートフォンで、スムーズに会費を支払うことができ、コベカツクラブと保護者間の連絡機能を備え、安心してコベカツに参加いただくことができます。

もちろん、今年の夏まで、住吉中学校の部活動は継続します。その後は、新たにはじまる「コベカツ」の活動から、校区に関係なく選択して参加することができます。「コベカツ」については、その考え方に加え、例えば、住吉中学校を含め、各中学校を活動場所とするコベカツクラブにはどのようなものがあるのか、活動の曜日や時間帯、費用はどれぐらいかかるのかなどについて、教育委員会のホームページ等で確認できます。また、7月以降、コベカツクラブの体験会や説明会も予定されています。「コベカツ」以外の活動も含めて、あらためて放課後や休日の過ごしかたを、保護者の皆様とともに、生徒自身が主体的に考えてほしいと思います。移行期にあたる中学生の皆さんや保護者の皆様にとっては、不安に感じることもあると思いますが、わからないことがあれば学校に気軽に相談してください。

なお、本校ホームページの「部活動について」のページにコベカツのホームページへのリンクを設定していますのでご活用ください。学校としましては、部活動がコベカツへ移行することがスムーズにいくように取り組んでまいります。あわせて、教員が本来の業務に注力するとともに、これまで部活動があることで難しかった個々の生徒への学習支援や個別相談をより充実させたり、放課後の新たな居場所づくりを進めたりするなど、学校での教育活動の充実に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 【その他、全般的なご意見】

- ・担任の先生、学年総務の先生、部活動の顧問の先生、こどもが中学校入学と共に関わらせていただいている先生方は皆さん熱意があって、生徒をよくみていてくださっていると思います。
- ・日々大きなトラブルもなく、無事に過ごせているのは、先生方のおかげだといつも感謝しております。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。最終学年になり、部活、勉強、行事に全力で取り組んでいる娘の姿をたくさん見ることが出来ました。先生方のご指導のおかげです。受験まで後少し。今後ともよろしくお祈りします。
- ・先生方は熱心な方ばかりで、合唱が苦手な子なので音コンを心配しておりましたが、担任の先生の熱意が伝わったようで初めて家でも熱心に練習したり、音程が外れてないかチェックして欲しいと親の前でも歌の練習をしたりしていました。部活動は無くなってしまうのですが、先生の熱心なご指導でチームが目標に向かってひとつになり、とても良い経験が出来ました。普段なら苦手なタイプには話しかけたりしないような子ですが、部活の時は話し合ったり励まし合ったり、同じ目標がある同士の絆が出来て素晴らしかったです。人生は一期一会ですが、本当に住吉中学校に入って良かったと心から思います。
- ・体育会、文化祭、日々の部活動、トライやる、野活、修学旅行など、どのイベントも先生方の熱心な企画、下見、指導のおかげで、子どもたちも全力で取り組めたと思います。部活動においても、先生が他校との練習試合を多くして下さったおかげで強くなり、心から楽しむことができ、1日でも引退を遅くしようと努力することができました。3年間毎日登校できたのは、先生方が一生懸命学びの環境を作ってくくださったからだと思えます。どうもありがとうございました。

○同様のご意見を複数いただいております。ありがとうございます。今後も生徒一人一人を大切にできるよう教育活動に邁進していきます。今後も、ご意見等ございましたら、学校までご連絡ください。